

# スポーツ川越

発行 川越市体育協会



生涯スポーツフェスティバル開会式

## 生涯スポーツの推進

川越市体育協会会長 関口正鏝

(1) 生涯スポーツがクローズアップした経緯について

時代の大きな影響を与えている。こうした時代の変化に対応して、文部科学省が平成十二年に新しい「スポーツ振興計画」を作成し大目標として二つかかげたなかの一つが「国民の誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現を図る」という指標でありそれを基に日本体育協会、埼玉県、川越市等それぞれが「生涯スポーツ振興計画」を作成し具体策を推進し始めたのである。

(2) 総合型地域スポーツクラブとは

生涯スポーツ社会の現実を目指して新たなスポーツ基盤の構築や、身近なスポーツ環境の改善を進めるために国が中心となり重点施策として全国の市町村に設置し育成していることとする計画であり、その基本的形態はスポーツを楽しむために、多くの種目が用意され、さまざまなレベル、世代の人々が拠点になる施設に集いスポーツを中心に住民同志交流を深めることを目標としたいいわゆるヨーロッパ型のスポーツクラブといつてよい。設立時には行政から支援を受けても最終的には地域住民による自主運営を目指しているといわれている。

(3) 生涯スポーツを進めるのにあたって

現在地域の人達のスポーツの接し方は、体力を鍛え、高度な技術を身につけ勝利を追求するのが目的ではなく、日常の気ばらしであったり健康のため、又スポーツそのものを楽しむ活動ではないでしょうか。それには今迄の競技に片寄り過ぎたスポーツ観の視点を変えて、常日頃スポーツに親しみのない人達に遊びの感覚でスポーツに親しみ楽しんでもらうという考え方を優先して総合型地域スポーツクラブの構築に取り組むことが重要ではないかと考える。

# 総合型地域スポーツクラブの展開

一「総合型地域スポーツクラブ」とは

文部科学省は、平成十二年九月に「スポーツ振興基本計画」を策定し、公表しました。

この計画では、生涯スポーツの実現に向け、平成十三年（二〇〇一年）度から平成二十二年（二〇一〇年）度までの計画期間内に、全国の各市区町村に少なくとも一つは「総合型地域スポーツクラブ」を設置育成することを目標としていました。

その一つは種目の多様性、一つは世代や年齢の多様性、そして、技術レベルの多様性です。「総合型地域スポーツクラブ」は、こうした多様性を持ち、日常的な活動の拠点となる施設を中心に、会員である地域住民のニーズに応じたスポーツ活動が質の高い指導者のもとに展開するクラブです。

レベルの競技者まで、つまり、地域住民の誰もが、参加して楽しめるスポーツ活動が用意されています。

③ 質の高い指導者がいて、個人のスポーツニーズに応じた指導が展開されます。

④ 活動拠点となるスポーツ施設があり、そこで定期的・継続的なスポーツ活動を行うことができます。

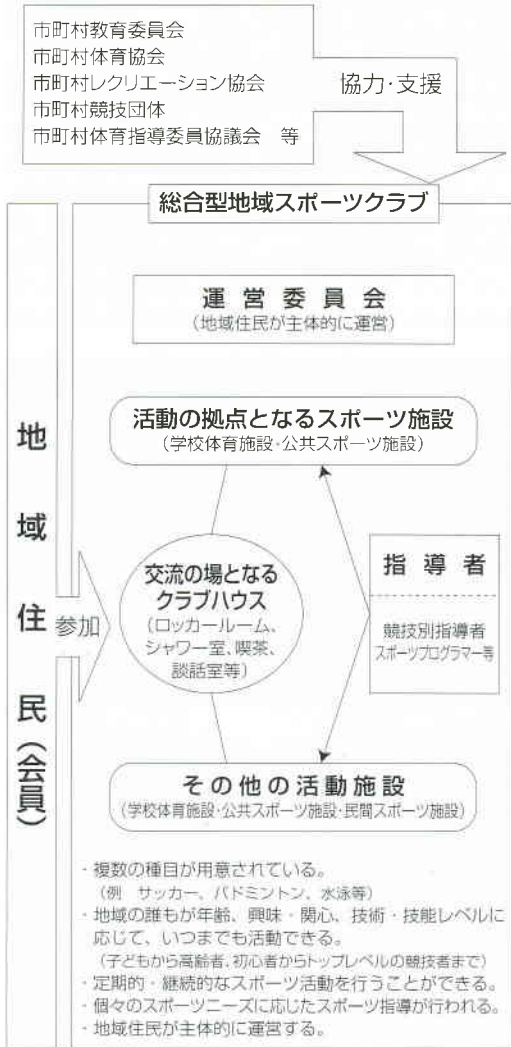
⑤ スポーツ活動以外の、地域住民のニーズに応じた文化活動なども用意される場合があります。

スポーツ活動が理想的に展開する「総合型地域スポーツクラブ」ですが、その主役は、地域住民の方々なのです。

すなわち、地域住民の方々が各地域でそれぞれ育み、発展させていくのがこの「総合型地域スポーツクラブ」なのです。

しかし、地域住民の方々が主体となったクラブの運営は、言葉でいうほど簡単ではありません。直面するさまざまな問題があります。クラブを展開していく上での様々な取り組みは、地域社会を豊かにする大きなチャンスとなるのです。

## 総合型地域スポーツクラブモデル



※川越市生涯スポーツ振興計画「かわごえ スポーツ21」より抜粋

## 二「総合型地域スポーツクラブ」のメリットとは

「総合型地域スポーツクラブ」を育成していく最大のメリットは、誰もが気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツの実現ですが、以下のようなメリットも期待

- ① 今までスポーツを続けてきた人はもちろんのこと、これまでスポーツをする機会がなかった人も参加することができ、スポーツが生活の一部となる人が増え、スポーツの実施率が向上します。
- ② 地域と学校が連携して、子どもたちのスポーツ活動を支援するので、地域の教育力が向上します。
- ③ 継続的にスポーツ活動に取り組むことにより、個人々の健康が保持・増進され、地域の健康水準の改善が図られ、医療費の軽減にもつながります。
- ④ スポーツ活動を通して、地域の様々な人々とのふれ合いがあり、親子や家族、世代



⑤ 間の交流が広がります。  
質の高い一貫した指導により、多くの人材の中から、優秀な選手を発掘し、長期的な視野に立って育成することができます。

⑥ 高齢者の方が、定期的にクラブ活動に参加することで、スポーツを楽しむことと同時に社会との接点を持つことになり、高齢者の方の生きがいづくりに貢献します。

⑦ 地域の中から、指導者として有能な人材を発掘することは、地域住民の方々の特技を生かせる場を増やすことになり、人々の積極的な社会参加を促すことにつながります。

⑧ ヨーロッパ諸国などでは、「総合型地域スポーツクラブ」はスポーツ活動の場というだけでなく、地域住民の方々の社交の場にもなっています。クラブハウスに行けば地域の様々な情報を得ることができ

⑨ スポーツ施設の利用方法等が見直されることにより、地域住民の方にとって、より身近な施設となり、スポーツ施設の有効活用が、推進されます。

⑩ 「総合型地域スポーツクラブ」

に加入し、地域コミュニティに入ることにより、人々は地域への誇りを感じるようになります。地域全体に活気が生まれ地域の活性化につながります。

### 三 川越市における「総合型地域スポーツクラブ」の展開

#### 「芳野スポーツクラブ」

本市におきましては、生涯スポーツの振興のために、平成十三年三月、「川越市生涯スポーツ振興計画」が策定されました。

その推進施策三十五の中に、「総合型地域スポーツクラブ」の設置、育成があります。

つまり、本市においても、生涯スポーツ推進の観点から、その設置、育成を積極的に推進することとしています。

具体的には、本市初めての「総合型地域スポーツクラブ」が芳野地区で産声を上げました。

平成十三年六月より、設立に向けての準備が進み、平成十五年二月二十三日、伊佐沼にあり

ます国民年金健康保養センター「むさしの」におきまして、舟橋功一市長をはじめとして多くの方々のご臨席の中「芳野スポーツクラブ」設立総会が開催されました。

クラブの設立は、設立総会の



開催によって成立するのが恒例です。

① 地域・家庭・学校が協力しスポーツ活動を通してこれからの二十一世紀を担う子どもたちを心豊かで、たくましい人に育成すること。

② 子どもからお年寄りまでの世代間の交流ができるようスポーツ活動を進め、互いに社会性豊かな心を育み、特に高齢者における健康の保持に努め、明るい地域づくりを目指すこと。

これらの目標を達成するため、次のような事業を展開します。スポーツ教室の開催、所属加盟クラブの活動、スポーツ大会、クラブイベントの開催、各種研修会や講習会の開催、親睦事業などを実施します。

なお、スポーツ活動の拠点と



芳野スポーツクラブの目標は、生涯スポーツ社会の必要性が問われる今日ですが、芳野地区における「総合型地域スポーツクラブ」の設置は、まさに生涯スポーツ社会の実現を目指すものとなります。

川越市のスポーツ振興のためにもこの芳野スポーツクラブに対して、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

市内五箇所程度設置することとしています。

なお、「川越市生涯スポーツ振興計画」では、平成二十二年までに芳野地区を含めて

### 彩の国まごころ国体 競技別リハーサル大会の開催

川越市では、平成16年に開催する彩の国まごころ国体の競技会運営準備のため、平成15年に競技別リハーサル大会を開催します。

川越市開催の日程・会場等は次のとおりです。

#### 【バレーボール】

大会名 平成15年度全日本6人制バレーボール実業団男女優勝大会(女子の部)

日程 8月1日～4日

会場 川越運動公園総合体育館

#### 【ゴルフ】

大会名 第17回埼玉県市町村対抗ゴルフ選手権大会(男子)

日程 9月29日

会場 霞ヶ関カンツリー倶楽部

#### 【サッカー】

大会名 第39回全国社会人サッカー選手権大会

日程 10月18日～21日

会場 川越運動公園陸上競技場

#### 【高等学校野球(軟式)】

大会名 第44回秋季関東高等学校軟式野球大会

日程 11月7日～10日

会場 川越市初雁公園野球場

彩の国まごころ国体

川越市実行委員会事務局

☎(224) 6511

### 空手道連盟

現在、川越市空手道連盟は五団体の加盟と、男女を問わず小学生から大人まで約一五〇名の会員が稽古に励んでいます。

空手は暴力ではありません。その真髄は高潔な人格完成にあります。空手の技を究めるために、古く沖繩の里より約四〇〇年もの間、人々は血のにじむような努力を重ねてきました。先人はその力に自己の内にこそ秘めおくべきもので、決して暴力として使うことのないように厳に戒めてきました。

二十一世紀になった現在においても先人の空手の精神は何ら変わることもなく、今の我々に受け継がれおられます。



そして、この精神は決して変わることもなくまた次の世代へと受け継がれていくことでしよう。

### スケート連盟



川越市スケート連盟は、昭和四五年に設立されました。川越でスピードスケート?と思われる方も多いと思いますが、現在、高校生以上のクラブと小中学生を中心としたジュニアクラブで活動しており、国体、インターハイ、全国中学校大会へは毎年選手を派遣しております。また、昨年まで一緒に練習していた選手が、「海外で行われたジュニア世界大会で入賞を果たした」という連絡もあり、大変喜ばしく誇りに思っております。競技とは別に普及活動の一環と

して、川越市主催のスケート教室や子供会等からのご依頼に対し、日本スケート連盟公認指導員を派遣し、指導のお手伝いをさせて頂いております。

### テニス協会

川越市テニス協会は、昭和五十六年に川越市内の企業や民営テニスクラブなどの九団体によって結成され設立されました。テニス協会は設立後二十二年が経過し、登録団体数および大会参加数とも設立当時の数倍の規模となりました。参加者の増加に伴い種々の苦難も有りましたが、協会の役割である市民を対象とした大会運営は役員の方により県下でも有数のテニス協会に育っていることと自負しています。当協会に所属する選手の実績は都市対抗テニス大会を始めとし、埼玉県大会はもとより全国大会での活躍が目立ちます。

### 体だよりへの展望

当協会の今後の課題は小学生や中学生のような若い子供達をテニスを通して立派な社会人、優れたスポーツ選手に育てることが当協会の使命と考えております。

高齢化社会が進む中で老若男女が楽しめるスポーツとしてのテニスの役割は、健康維持や生き甲斐として重要であります。近年、テニス愛好者の増加に伴い、テニスコートの使用が、ますます困難な事態となっております。市民の要望は幅広い年齢層が楽しめるテニス施設の更なる拡充を願っています。



### グラウンドゴルフ協会

グラウンドゴルフは、高度な技術がなくても楽しめ、ルールも簡単なので初心者でもすぐに取り組



めます。そのため、全国に生涯スポーツとして普及定着しつつあります。

川越市においては、教育委員会及び体育指導委員の尽力により、生涯スポーツの振興を目的に、各地区で普及活動を推進し、グラウンドゴルフ愛好会が発足しました。その後日本協会、埼玉県協会に加盟するとともに、加盟団体も年々市内全域に広がり、会員数も増加した為平成十年に愛好会から協会へと名称を変更しました。

現在、加盟団体七一団体、会員数一三二〇名の規模を有し、各種大会を開催しております。

平成十四年より、近隣市町村の愛好者を招いて、小江戸大会も実施しております。又、今年、平成十二年の埼玉県大会に続いて、

一六〇〇名の選手をお迎えして、関東大会が、安比奈親水公園で開催されます。

この大会で、より一層、交流の輪が広がることを、期待しております。

### 小学校体育連盟

小学校体育連盟は、「心身ともに健全な児童の育成」を目標とし、児童をより運動好きにし、心も体も健康な児童の育成に努めてきました。今年度も大きく二つの柱で活動してきました。

研究部活動では、体育授業実践を低・中・高学年にわかれて行いました。それぞれ、どのようにすれば児童が主体的に授業に取り組めるかを検討し、よりベストの方法で実践しました。今年新しく「身体ほぐしの運動」を実践したり、評価面にも力を入れたりしたので、その成果も表れてきました。

委員会活動では、バスケットボール大会、サッカー大会、市民体育祭の陸上大会を開催しました。どの大会も、児童が自分の力を一杯に発揮して頑張っている姿がとても印象的でした。学校間の交流も図られ、とても有意義な大会でした。また、逆上がりや水泳の技能調査を行い、児童の実態を把



握しました。

今、児童の体力は低下傾向にあります。今後、体力を向上させ、より健全な児童を育成するように各学校の体育授業や大会運営の充実に努力してまいります。

### 中学校体育連盟

中学校体育連盟は、市内中学校二六校（公立二十二校、私立四校）で構成されています。大きく二つの活動組織があります。

競技部は、バスケットボール、サッカー、野球、バレーボールなど十六の専門部に分かれ、それぞれの専門部を中心に各種の大会が運営されています。公式戦は春・

特集・国  
21世紀

夏・秋（市民体育祭）の三回おこなわれ、特に夏の大会には、一年生から三年生までの約七三〇〇名（平成十四年度）が大会に参加しました。しかし、近年、生徒数の減少で部員が集まらず、部の活動が難しくなるところや、平成十六年度からは、公式戦が春秋の二大会に縮小されるなど新しい課題も出てきました。

研究部は、体育の授業の充実と体力の向上を図るために、授業研究を中心に活動しています。来年



度は、関東地区の授業研究会もおこなわれます。  
中体連では、体育の授業や競技スポーツを通じて、豊かな人間性の育成や体力向上を目指しています。多くの生徒が生涯スポーツの基礎作りとして、運動・スポーツに親しむ能力や態度が育成されるような活動を続けていきたいと考えています。

### 高等学校体育連盟

高等学校体育連盟という組織は、一般的には都道府県単位での活動を基盤としており、この川越市高等学校体育連盟は市町村レベルでの活動組織として全国的にも貴重な存在となっています。発足は昭和三十年であり、当時の川越市高校体育関係者の方々の先見の目には尊敬の念を抱くところであります。青少年への体育スポーツの啓蒙とその発展を目指し、これまで多くの活動をおこなってきました。

近年の社会の変化に伴い、子どもたちのスポーツを取り巻く環境も大きな変化を余儀なくされています。多様な価値観が世にあふれ、高校生期においてスポーツに取り組む習慣が減少しつつあるように感じられます。その一方では、地域スポーツが浸透し、生涯スポー

ツの基盤が整いつつあり、川越市における各種競技団体の発展が社会に大きく寄与しているものと思えます。  
今後も、青少年の健全な育成にスポーツが果たす大きな教育効果に期待し、学校体育と社会スポーツの連携を深め、川越市体育協会全体の発展を目指していきたいと考えています。



# 第五十五回市民体育祭

## 総合開会式

9月15日(祝)川越運動公園陸上競技場を会場に、市制施行八十周年記念生涯スポーツフェスティバル、川越市スポーツ少年団体育祭といつしよに開催されました。

三十団体、三九八名の参加のもと、力強い入場行進が行われました。

舟橋市長の挨拶に続いて、参加者を代表して宮本典子さんによる選手宣誓が行われました。

## 市民体育祭・町内体育祭

スポーツの秋、九月から十一月にかけて、各地区で小・中学校の校庭を会場として実施されました。



射撃



バレーボール

実施自治会 一八七自治会  
会場数 二八会場  
参加者数 二六、九三四名

## 市制施行80周年記念第55回市民体育祭参加者

	参加者					合計
	少年少女	青年	婦人	壮年	その他	
野球連盟					350	350
卓球連盟	11	21	149	80	73	334
ソフトテニス連盟	64	26	58	20	4	172
バレーボール連盟	100	90	667	50	28	935
バスケットボール連盟	820					820
サッカー協会	1,020	710				1,730
柔道連盟	285	71	25	38		419
剣道連盟	89	48	14	26		177
弓道連盟	112	8	22	12	17	171
空手道連盟	145	60				205
陸上競技協会	590	18	2	6		616
水泳協会	925	147	83	78	7	1,240
スキー連盟	11	9	9	42	3	74
クレール射撃協会				16	21	37
ライフル射撃協会		1	1	10	3	15
スケート連盟	14	1		2		17
体操連盟	114				32	146
小体連	785					785
中体連	4,919					4,919
高体連	2,500					2,500
レクリエーション協会	30	37	453	91	196	807
バドミントン連盟		92	56	58	2	208
少林寺拳法協会	181	66				247
ソフトボール協会		157	152	2,384	764	3,457
テニス協会	94	687	488	196		1,465
ボウリング連盟	19	12	26	13	6	76
なぎなた連盟	6	1	44		1	52
ラグビーフットボール協会	220	40		55	5	320
ゲートボール連盟			110	5	85	200
グラウンドゴルフ協会			91	49	791	931
合計	13,054	2,302	2,450	3,231	2,388	23,425

少年少女=小・中・高校生 青年=30歳未満 壮年=30~60歳 その他=61歳以上

## シリーズ 体育施設紹介 (4)

入間大橋緑地は、昭和40年代の高度経済成長に伴う余暇時間の増大により、スポーツレクリエーションの場を望む声が高まったことから、入間川の河川敷を占用して、野球場・ソフトボール場を整備したものです。

開設は昭和50年11月で、現在の施設内容は、野球場2面、ソフトボール場15面、トイレとなっています。

利用については、公園管理事務所(222-1301)へお問い合わせください。

使用料 無料  
休場日 月曜日



ラグビーフットボール



弓道



## 入間大橋緑地



池谷幸雄と楽しくウォーク!

川越ウォークソン大会は、市制施行六十周年の昭和五十七年に始まって以来二十一回を迎えたが、今回は市制施行八十周年記念事業「小江戸川越ウォーキングフェスティバル」として、競技部門をは

種目	参加人数
一般10km	260名
中学生10km	146名
一般5km	349名
中学生5km	121名
小学生5km	243名
親子5km	151組387名
合計	1,506名

■ 期日 平成十四年十一月三日(祝)  
 ■ 会場 川越運動公園周辺コース  
 ■ 種目・参加人数

市制施行八十周年記念  
**小江戸川越ウォーキングフェスティバル**  
 (第二十一回川越ウォークソン大会)

ずした健康ウォーキングイベントとして実施された。初めての当日参加受付、小中学生の参加費の無料化、電車内の吊り広告など、募集方法にも工夫を凝らした結果、昨年より多い千五百六名の参加者があった。当日は爽やかな秋晴れに恵まれ、伊佐沼を中心としたのどかな田園地帯のコースに沿ってウォーキングを楽しみ、特に、「正しく・美しく・速く歩いた」参加者の中から、スタイル賞として各種目十名ずつ(親子は十組)に賞状・トロフィーが授与された。

また、スポーツタレントの池谷幸雄氏をゲストに迎え、ウォーキングやイベント行事と一緒に参加して花を添えてもらったり、気軽にスポーツ体験のできるふれあいコーナーを設けるなど、八十周年の記念事業にふさわしい内容も盛り込まれた。無料の芋煮のサービスや楽しい抽選会も行われ、親子の参加者には特に好評であった。シルバークの表彰を受けた八十才以上の参加者が十七名、最高齢は九十一才というのも、高齢化時代の一端を感じさせた。

今回の参加者数は昨年よりもやや増加したとはいえ、ここ数年二千名に満たない状況で推移しているのは、やはり寂しい。健康志向の時代の要求にマッチしたもつと魅力のある大会をめざして、内容や運営方法等の抜本的な検討が今後の課題となろう。

初めの当日参加受付、小中学生の参加費の無料化、電車内の吊り広告など、募集方法にも工夫を凝らした結果、昨年より多い千五百六名の参加者があった。当日は爽やかな秋晴れに恵まれ、伊佐沼を中心としたのどかな田園地帯のコースに沿ってウォーキングを楽しみ、特に、「正しく・美しく・速く歩いた」参加者の中から、スタイル賞として各種目十名ずつ(親子は十組)に賞状・トロフィーが授与された。



ふれあいコーナー～グラウンドゴルフ

今回の参加者数は昨年よりもやや増加したとはいえ、ここ数年二千名に満たない状況で推移しているのは、やはり寂しい。健康志向の時代の要求にマッチしたもつと魅力のある大会をめざして、内容や運営方法等の抜本的な検討が今後の課題となろう。



ふれあいコーナー～ディスクゲッター

川越市スポーツ教室

No.	対象種目	教室名	平成14年度参加者	平成13年度参加者	会場	
1	一般対象種目	ゴルフ	Aコース	15名	15名	プロスパー(上戸)
2			Bコース	15名	15名	
3			Cコース	15名	15名	
4			Dコース	15名	15名	
5		フットサル	名	実施せず	総合体育館	
小計			60名	60名		
6	障害者対象種目	グラウンドゴルフ	15名	19名	市民体育館、運動公園自由広場	
小計			15名	19名		
7	女性対象種目	バドミントン	24名	15名	市民体育館	
8		スイミング	31名	24名	川越スイミングスクール	
9		卓球	42名	実施せず	市民体育館	
小計			97名	39名		
10	ジュニア対象種目	スイミング	37名	23名	中央小学校	
11		スキー	120名	115名	草津国際スキー場	
小計			157名	138名		
12	ジュニア一般対象種目	スケート	1期	49名	47名	東武川越スケートセンター
13			2期	85名	84名	
14		卓球	31名	50名	市民体育館	
小計			165名	181名		
15	親子対象種目	わくわく親子体操教室	57名	実施せず	市民体育館	
小計			57名			
合計			551名	437名		

第10回スポーツ指導者養成講習会

第一日	期日	10月23日(水) 午後7時～8時30分
	内容	「生涯スポーツについて」
	講師	川越市体育協会 関口 正鏢 会長
第二日	期日	10月30日(水) 午後7時～8時30分
	内容	「間違いだらけのトレーニング」
	講師	東洋大学教授 穂田 清 先生
第三日	期日	11月6日(水) 午後7時～8時30分
	内容	「テーピング」
	講師	城西大学教授 武藤 幸政 先生
第四日	期日	11月13日(水) 午後7時～8時30分
	内容	「運動不足が身体に及ぼす影響」
	講師	東洋大学教授 三浦 邦彦 先生
参加者 のべ 163名		

### 体育功労者 優秀選手表彰式

期日 平成十五年二月九日  
会場 やまぶき会館中ホール



#### 〔体育功労者〕

- 大坪雅博氏 (野球連盟)
- 櫻井利秋氏 (サッカー協会)
- 岡田晴義氏 (弓道連盟)
- 笠原政吉氏 (スキー連盟)
- 三浦昌則氏 (高等学校体育連盟)
- 杉田 章氏 (ラグビーフットボール協会)

#### 〔特別表彰〕

川澄 映氏 (第12回アジアベテラ  
ンズ陸上競技選手権  
三段跳競技優勝)

#### 〔優秀選手賞〕

二四部門 四一八名

### スポーツ講演会

期日 平成十五年二月九日  
会場 やまぶき会館中ホール

登山家・医学博士として多方面  
でご活躍の、今井通子氏をお迎え  
して、「山と人生」と題してご講  
演をいただきました。

幼い頃から山に親しみ、動物の  
一種としての「ヒト」は自然から  
刺激を受け発達するといふご両親  
の教えを肌で感じていたそうです。

大学時代に本格的に登山を始め、  
山の面白さは自分の持っている能  
力を常に試せることにある、と教  
えていただきました。また、登山  
から感じ取った環境の変化から、  
今日の環境問題にも触れられ、登  
山の経験を普段の仕事や生活に役  
立てているということでした。

「登山は人間そのものの生き方  
である」という今井氏の思いが、  
会場いっぱい広がった講演会で  
した。



今井通子氏

### 活躍する選手たち

#### ■ドッジボール

川越小ハリケーンズ  
川越小ハリケーンズキッズ



明るく楽しく強  
くを合言葉に、小  
学校低学年から高  
学年までの三十数  
名の子供たちで活  
動しています。日  
本のドッジボール協  
会のルールに基づ  
き、総監督、監督、コーチの三名  
の指導者と、川越小ハリケーンズ  
のOBの支えと保護者の応援によ  
って成り立っています。活動日は、  
主に木曜日の夜と、土曜日の午前  
です。公式の大会にも多く参加し、  
月に一度は練習試合もあり、会場  
は川越小や多の学校などへ出かけ  
ることもあります。そんな時は、  
監督や保護者の車で移動となりま  
す。車内では、練習の時とは別で、  
子供らしいふれ合いもあり、それ  
も楽しいようです。

試合の時にはとキリッと気持  
ちを切りかえ、子供たちは闘志を  
燃やします。緊張した場面も多く  
出てきます。親の応援は子供たち  
の強い励みとなります。

ドッジボールは、だれでもが楽

しめるスポーツです。ドッジボー  
ルのチームがもつともっと川越に  
増えて盛んになることを望みます。  
なぜなら、子供たちはドッジボー  
ルが大好きだからです。これからも  
新しいチームが増え、試合ができ  
るのを今から楽しみにしています。

■国体・弓道競技に十三年連続出  
場中の吉澤喜芳さん 三十六歳



◎今年度大会成績 第五十三回全  
日本弓道大会・教士の部優勝、第  
五十七回国民体育大会・弓道遠的  
競技準優勝、第五十三回全日本弓  
道遠的選手権大会第四位

◎弓道の魅力は？ 年齢に関係な  
く競技に参加でき、練習のメニュ  
ーを自分で組み立てることができ、  
そして、何よりも弓を一杯に引き  
絞って放すまでの、あの静寂の中  
の張りつめた空気です。

◎練習の方法は？ ひたすらのに  
向かって弓を射るといふ繰り返  
しなので、単調にならないように大  
会をイメージしたり、弓友と試合  
形式で練習をしたりしています。

◎目標と抱負 平成十六年の埼玉  
国体で優勝すること。今は、目の

前の大会や試合を一つずつ楽しん  
でいきたいと思っています。

■川越レクリエーション協会  
バウンドテニス 鹿貫君代



◎大会成績 全国大会三回優勝  
(ダブルス) 関東大会二年連続優  
勝(団体戦)

◎練習日は？ 市  
民体育館で金曜日  
(十時～十二時)

◎この競技の魅力  
は？ 日本で生ま  
れたスポーツで、  
まだ二十年。テニ  
スのミニチュアのようなスポーツ  
でレク的にも楽しめますが、男女  
との差がなく競技としても対戦で  
きる所が最高です。公式の大会が  
少ない為、三年くらい前からは他  
県の練習会や大会に参加して、全  
国大会で対戦できないような人達  
とも練習試合が出来て楽しいです。  
バウンドテニスを始めたからこそ  
全国のいろいろな人と知り合えた  
事が、今では私の宝物です。

◎将来の目標・抱負 全国大会で  
ダブルス三連覇。シングルス上位  
入賞。全国大会十年連続出場。

### 編集後記

寄稿していただいた方々に感謝  
致します。芳野地区および、体協  
各団体の今後の活躍を期待します。